



海南市勢要覽 2022 改訂版





海南市長
神出 政巳

ごあいさつ

海南市は、温暖な気候や地勢を活かしたみかん・びわ・桃などの山の恵み、シラス・ハモなどの海の恵み、伝統産業である漆器・家庭用品産業、国宝や鈴木屋敷などの文化遺産、といった多くの地域資源を有し、また大阪市内や関西国際空港へのアクセスが良好で、立地条件にも恵まれたまちであります。

今後も、未来に繋がるバランスのとれた地域づくりを推進し、そして何よりも海南市民の「幸せ」を念頭に、もっと「住みやすい」まちづくりの実現に向けた施策を展開して参ります。

この市勢要覧をご覧いただき、本市の魅力を感じていただければ幸いです。

海南市勢要覧 2022 改訂版

目次 Contents

- | | | | |
|---|----------------|----|-----------------|
| 2 | ごあいさつ | 9 | 国宝建造物・鈴木屋敷・日本遺産 |
| 3 | 快適に暮らせるまちづくり | 10 | 特産・名産 |
| 4 | 子ども達がいきいきと育つまち | 12 | 観光・施設 |
| 5 | 誰もが健康に暮らせるまち | 14 | 議会・市のシンボル |
| 6 | 災害に強い安心・安全なまち | 15 | 次代に繋ぐまちづくり |
| 7 | 基本情報・交通アクセス | | |
| 8 | 熊野古道 | | |

快適に暮らせるまちづくり

「住み続けたい」「住んでみたい」と思えるようなまちとなるよう、「元気 ふれあい 安心のまち 海南」の実現に向け、社会基盤の適切な整備・充実を目指します。



道路・交通網の充実

令和元年に開通した阪井バイパスをはじめ、有田海南道路や黒江線の整備など、まちづくりと一体となった事業を推進しているほか、生活道路や通学路などの身近な道路についても、地域の声を取り入れながら、安全に利用できる道路整備を進めています。



快適に暮らせる住環境の整備

快適に暮らせる住環境の整備に向け、空き家対策や浸水対策、水道インフラの更新や公園遊具の改修等とともに、地域美化につながる活動を支援し、誰もが快適に暮らすことができるまちづくりを進めています。



海南市は海や山などの自然に囲まれ、北部・南部の市街地域、東部の田園地域、山間農地地域、港湾・海辺地域などそれぞれの地域に特色を持っています。



子ども達が いきいきと育つまち

子ども達の成長を支える

安心して出産・子育てができるようライフステージに応じた切れ目のない支援や、子育て交流の場の提供、保育所・認定こども園等での給食の無償化など様々な施策に取り組んでいます。また、一人一人の子ども達がよりよく成長できるよう、「確かな学力を育成する」「豊かな心や感性を育む」「健康でたくましい心と体を育てる」「社会の一員としての自覚を育てる」を基本方針とした教育を進めています。



妊娠期からの継続支援

保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・育児に関する様々な相談に対応し、産後ケアや乳幼児健診等の妊娠期から子育て期に渡る支援を一体的に提供しています。



給食無償化

国の幼児教育・保育無償化の枠を超え、3歳以上の園児に対し、保育所、認定こども園等の給食の無償化を実施し、安心・安全な給食の提供を行っています。



学校教育の情報化

Society5.0の社会を生きる子ども達のため、ICT機器の活用により情報活用能力を育成するとともに、各教科で身に付けさせたい資質・能力の育成を目指します。



誰もが健康に暮らせるまち

すべての人の健康を支える

市民一人一人が、心と身体の健康に対する意識を高め、自主的な健康づくりを促進するため、心と身体に関する正しい情報と気軽に参加できる健康づくりの機会を提供します。また、高齢者が医療や介護が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で、誰もが心身を健やかに保ちながら自分らしい生活を続けることができるまちを目指します。



介護予防事業の充実

介護予防教室やフレイル予防事業の実施、自主活動サークルの立ち上げや継続支援等を行うことで健康寿命の延伸を目指します。



認知症施策の推進

認知症サポーター養成講座の開催や見守り体制の充実を図るなど、認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。



健康づくり事業の充実

市民が健康づくりに取り組めるよう健康セミナーや健康測定会を実施し、病気の早期発見や重症化予防のため、がん検診等を実施しています。



災害に強い 安心・安全なまち

市民の安全を支える

近年、全国的に激甚化している豪雨災害や、近い将来発生が予測されている南海トラフ地震等の大規模災害による被害の軽減に向け、被害を最小限にとどめる「減災」の考えを基本方針とし、「災害に強いまちづくり」「災害応急復旧活動の体制づくり」「地域防災力向上のためのひとづくり」の促進に取り組んでいます。



災害に強いまちづくり

国・県・市が連携し、津波防波堤の整備や道路、公園等の都市基盤の整備等により、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。



災害応急復旧活動の体制づくり

災害時に迅速かつ的確に対応できるよう、国や県、防災関係機関、災害時応援協定締結先等と連携し訓練を実施するなど、災害応急復旧体制の整備に取り組んでいます。



地域防災力向上のためのひとづくり

災害時にも、地域やコミュニティが協力して活動できるよう、地域住民や学校、企業等が連携して、訓練や研修等を実施し、地域防災力の向上に取り組んでいます。



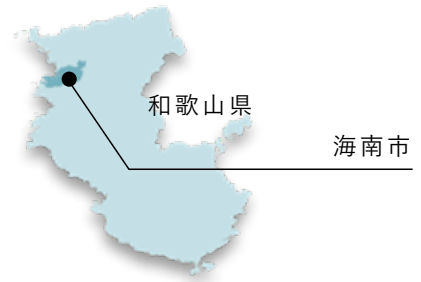
基本情報

KAINAN DATA

● 立地

和歌山県の北西部に位置する、四季を通じて温暖な気候に恵まれた市で、市域の西側が紀伊水道に面しており、天気がよいと四国や淡路島などを望むことができます。関西圏の都市部や観光地へのアクセスの良さも魅力です。

東経 135° 14'23" 北緯 34° 09'27" (海南市役所)



● 人口

48,186 人 [男性] 22,531 人 [女性] 25,655 人

(令和4年7月末現在 / 市民課)

● 世帯数

22,098 世帯

(令和4年7月末現在 / 市民課)

● 面積

101.06 km²

(令和4年国土地理院)

● 降水量

1705.0 mm

(令和2年時点 / 消防本部)

● 平均気温

15.3 °C [8月] 26.8°C [2月] 4.4°C

(令和3年時点 / 環境課)

● 日照時間

2154.7 時間 / 年

(令和3年時点 / 気象庁)

● 産業別就業者数 (構成比)

8.8% 第一次産業

25.6% 第二次産業

64.2% 第三次産業

(令和2年国勢調査)

交通アクセス

▶ 電車

和歌山駅	約 13 分	海南駅
新大阪駅	約 1 時間 10 分	
京都駅	約 1 時間 40 分	
神戸駅	約 1 時間 50 分	
奈良駅	約 1 時間 40 分	

▶ 車

和歌山市	約 30 分	海南市
大阪市	約 1 時間 15 分	
京都市	約 1 時間 50 分	
神戸市	約 1 時間 20 分	
奈良市	約 1 時間 30 分	

▶ 飛行機

関西国際空港 ⇄ 海南市
(電車 約 1 時間)

羽田空港	約 1 時間 20 分	関西国際空港
福岡空港	約 1 時間 15 分	

▶ フェリー

徳島港 約 2 時間 10 分 和歌山港

熊野古道

都の文化を

海南に伝えた熊野詣

平安時代中期から鎌倉時代の後期にかけて頻繁に行われた熊野御幸は、100回を超え、常に1,000近くの人馬を伴っていたといわれています。熊野にあこがれ、険しい山道を行き交う多くの都人たちが海南の地にひとときくつろぎ、里人と和やかに交流したことでしょう。

その頃に神前に奉納された舞や神楽が藤白の獅子舞(県無形文化財)になるなど、かつての都の香りは今なお海南に漂っています。



藤白神社(藤白王子跡)



地蔵峰寺(藤代塔下王子跡)



山路王子神社(一壺王子跡)

王子跡で往時を偲べば—

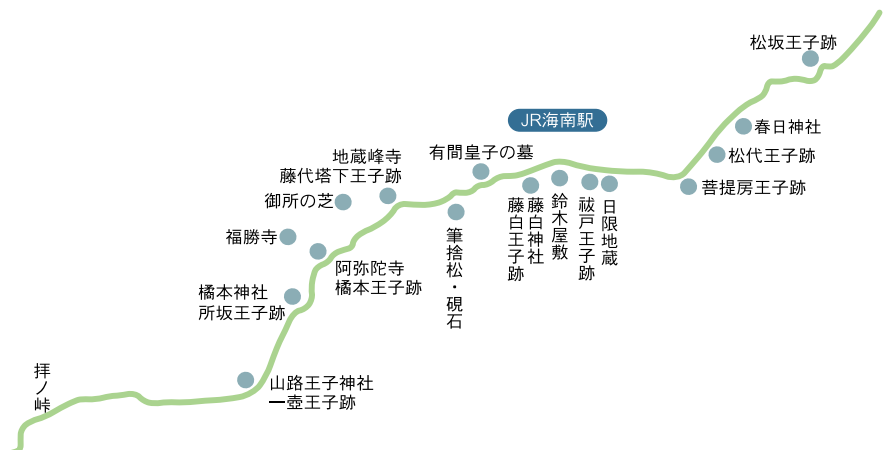
海南に入って最初が松坂王子で、石畳が残る急峻な山道を登ると汐見峠。万葉人があこがれの海を初めて目にした場所です。

この先が松代王子。春日橋を渡って菩提房王子。日限地蔵に手をあわせ、隣の祓戸王子へ。熊野の入り口、熊野一之鳥居跡を後にしたら、藤白神社として現存する藤白王子です。王子のなかでも特に格式が高い五躰王子社の最初で、古名は藤白若一王子。愛らしい丁石地蔵をたどりつつ、藤原定家が“よじ登る”と表現した急坂に挑みます。

かなり険しい峠道ながら、昔の古道の面影が色濃く残る藤白坂を越えると、そこが藤代塔下王子。御所の芝からの眺望が旅の疲れを癒します。

ここからみかん畑を下って石道標に導かれ、白河法皇が歌に詠んだ橋本王子へ。次の所坂王子は、みかんの祖田道間守で有名な橋本神社がこれにあたり、塔下、橋本王子もこの神社に合祀されています。

川沿いの道を少し進めば、海南熊野古道最後となる一壺王子。別名沓掛王子、山路王子に到着です。この先みかん畑を抜ける熊野古道は、沓も傾くという沓掛の地名どおりふたたび急坂となり、拝ノ峠、蕪坂の難所が待っています。



国宝建造物

長保寺

長保 2年(1000) に一条天皇が勅願した寺で、国宝の本堂は延慶 4年(1311) の建立とされています。優美な多宝塔、湛慶作と伝わる仁王像を擁する大門も国宝です。紀州徳川家御廟をはじめ多数の文化財が点在する境内は全域が国史跡で、県指定天然記念物の美しい自然林に彩られています。



大門



本堂



多宝塔



和歌山藩主徳川家墓所(史跡)



釈迦堂

善福院

臨済宗開祖、栄西禅師によって創設(建保 2年・1214)された広福禅寺五ヶ院の一つです。七堂伽藍をそなえていましたがその後荒廃し、今は善福院だけが残っています。国宝の本堂釈迦堂は鎌倉時代後期の禅宗様式で簡素さの奥に力強さを感じさせます。



絶景の宝庫和歌の浦

和歌の浦は海南市から和歌山市南部に位置する和歌浦湾を取りまく景勝地。万葉の歌人が詠い、江戸時代の画家が描いた感動を感じることができる豊かな風景が広がっています。海南市では、琴ノ浦温山荘園、黒江の町並み、藤白神社、熊野参詣道紀伊路藤白坂、地藏峰寺、長保寺、和歌山藩主徳川家墓所が日本遺産の認定を受けたストーリーを構成する文化財に含まれています。



御所の芝からの眺望

鈴木屋敷

～鈴木姓発祥の地～

日本で数多い鈴木姓のルーツであり、室町時代の庭園や源義経が滞在したことでも知られています。庭園を望む座敷は江戸時代の建築ですが老朽化が著しい状況となり、現在、屋敷の再生・復元に向けた取組が進められています。



再生復元イメージ
(令和 5年復元予定)

こだわりの
海南 特産
名産

蔵出しみかん

みかん栽培が盛んで、収穫したみかんを土壁の蔵で貯蔵し、熟成させて出荷する「蔵出しみかん」が有名です。「蔵出し技術」をはじめ、急傾斜地の特性を生かした農業システムが日本農業遺産に認定されています。



高津の桃

高津地域では、赤土を活かし、消費者の評価が高い味わい深い桃が栽培されています。主力品種は白鳳です。



ビワ

全国有数のビワの産地で、県下出荷量の8割を占めています。毎年柔らかく果汁の多い果実が実ります。



キウイフルーツ

昭和時代から栽培が行われており、果肉が緑色の品種のほか、黄色や赤色の品種なども栽培されています。



ハモ

夏の風物詩で、料亭などで高級魚としても出されるハモ。はえ縄漁法により、多くのハモが水揚げされています。



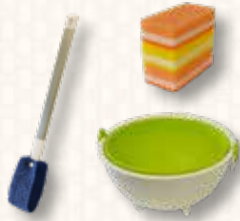
足赤えび

主に冬に水揚げされる足赤えび。希少なエビで、クルマエビより甘く濃厚な味として料理人の間でも有名です。



釜揚げしらす

水揚げしたてのしらす本来の美味しさを閉じ込めた、新鮮こだわりの釜揚げしらすの販売が盛んです。



家庭用品

デザイン性・機能性・耐久性に富んだ様々な家庭用品が生み出されています。特にバス・キッチン・トイレ・ランドリー用品等を中心とした水回り商品の全国有数の産地となっています。



紀州漆器

黒江地域は漆器の全国四大産地のひとつで、黒江塗りとも言われ、国の伝統的工芸品に指定されています。販路の拡大や技法の多様化のほか、時流にあわせた商品開発が進んでいます。



お酒

美味しい酒造りに必要な清らかな水や風土など自然環境にも恵まれ県下有数の酒どころとなっています。日本酒や梅酒など、日本全国や世界から愛される銘柄も数多く製造されています。



棕櫚製品

古くから日本の家庭で愛されたたわしやホウキなどの魅力的な棕櫚製品づくりが行われています。



牧場牛乳・ソフトクリーム

レジャー施設にもなっている黒沢牧場の搾りたてミルクを使用したソフトクリームや、寺尾牧場の濃厚な牛乳などが身近で味わえます。



大判焼き

長く地元で愛されている“ずぼら焼”。オレンジ色の看板を構える店の外観もまちのシンボルのひとつです。



海南スイーツ お菓子のまち

みかんの原種である橘が、日本で最初に本市の下津町橘本地区に植えられたということ、また、橘は古代にはお菓子として食されていたことから、「みかん・お菓子発祥の地」として、魅力発信をはじめ、様々な取組を展開しています。



わんぱく公園

昔はどこにでもあった近所の裏山のような、子ども達にとって魅力が盛りだくさんの公園です。自然に包まれ、大人も童心に戻ってリフレッシュできます。



県立自然博物館

魚の泳ぐ博物館がキャッチフレーズ。水量 450 t の大水槽(黒潮の海)のほか、100余りの展示水槽を備えています。生きものに触れる体験もできます。

海

南市内の見どころや、憩いの施設などを紹介します。

観光・施設 スポット



亀池公園

井澤弥惣兵衛が造った県下最大級のため池で、中央の島には紀州徳川家の別荘(双青閣)を移築。2,000本の桜の名所としても有名です。



シモツピアーランド

全長 100m の釣り桟橋で、気軽に海釣りを楽しめるつり公園です。季節ごとに様々な種類の魚がかかり、たくさんの人で賑わっています。



琴ノ浦温山荘園

大正時代、実業家新田長次郎がこの地の景勝に惹かれて造園した潮入式池泉回遊庭園で、国の名勝にも指定されています。



森林公園雨の森

海南市の市街地と紀伊水道の美しい海岸線を一望できる展望台で、夜景スポットとしても人気です。



「知と学びの拠点」

海南 nobinos

図書館機能・市民活動生涯学習活動支援機能・子育て支援機能・カフェ・広場などを有する、市民交流施設で、市の中心街のシンボルにもなっています。施設のデザインや設備、色彩にこだわって楽しさを演出しており、本に触れる機会の創出をコンセプトに、これまで図書館に足を運ばなかった人たちも楽しめる施設です。

声を出してもいい、喋れる図書館



読書を楽しむ

館内はフタ付の飲み物の持ち込みも可能で、時間を忘れてゆっくりと読書を楽しむことができます。



カラフルな本棚が迷路のように並んでおり、子ども達がぶつかっても怪我をしないようクッションで覆われています。



「海南の伝統色」として選んだ17色を基に、海南の特産品や文化・名所などを紹介したピクトグラムを掲示しています。



- 図書館規模 -
最大蔵書冊数 約 15 万冊
絵本開架冊数 約 5 万冊
閲覧・学習席数 約 450 席

屋外でも、屋内でも、運動ができる

運動施設が充実

市内には海南スポーツセンターや運動場、テニスコートなど外でのびのびとスポーツを楽しめる施設をはじめ、総合体育館やプールなど、室内運動ができる施設も充実しています。



海南スポーツセンター

フットサルコート、ジュニアサッカーコート、体育館、簡易宿泊施設等が一体となった複合型スポーツ施設。スポーツ合宿にも活用されています。

海南市民温水プール 下津室内プール

一年を通して、安全・安心・快適に利用が可能で、心と体の健康づくりをサポートします。



議会



海南市議会は 18人の議員で構成され、市の予算、条例、計画などを審議して議決します。また、市の業務が適切に行われているかチェックしています。

市のシンボル

市章



「元気 ふれあい 安心のまち 海南」をイメージ

市の木



サクラ

市の花



ミカン



市公式ホームページ



市公式 Facebook



市公式 LINE



市公式 Instagram



次代に繋ぐまちづくり

令和2年にオープンした図書館機能を核とした多目的複合施設「海南 nobinos」をはじめ、地元の様々な地域資源とその魅力を発信する「道の駅」、地域防災拠点と多世代が集う居心地の良い都市公園としての二面性を持つ「(仮称)中央防災公園」の整備を進めるなど、にぎわいの創出や魅力向上に取り組んでいます。

「食と交流の拠点」の整備

令和5年9月開駅予定

海南市道の駅

農水産物や生鮮加工品、地場産品を販売する産直マルシェや飲食施設のほか、子どもが遊べる芝生広場を備えた道の駅の整備を進めています。



「遊びと安心の拠点」の整備

令和7年4月開園予定

(仮称) 中央防災公園

南海トラフ巨大地震などの大規模災害時に地域防災拠点や応急仮設住宅建設用地として活用できる公園として整備します。併せて、賑わいを呼び込む市のシンボル公園として、「ここにしかない」魅力を備えた公園となるよう複合的な整備を進めています。

令和7年4月開館予定

(仮称) 体験学習施設

歴史民俗に関わる資料展示のほか、防災に関する展示や、先人の知恵や技術から、災害時に活用できる知識等について、体験学習を提供します。災害発生時には、文化財レスキューや、応急仮設住宅に避難してきた子ども達等の、心のケアの場として活用します。



海南省勢要覽 2022 改訂版

発行：海南省役所

〒 642-8501

和歌山県海南省南赤坂 11 番地

TEL 073-482-4111

FAX 073-482-0099

URL <https://www.city.kainan.lg.jp/>

編集：企画財政課